

Sports Fukushima

スポーツふくしま

25
2011.3

(財)福島県体育協会 〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館
TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971

東日本大震災の被災者の皆様へ
心よりお見舞い申し上げます。



みんなで
スポーツを!
I will play sports together!



※掲載されている文章は、震災前の作成であることをご承知願います。

巻頭言

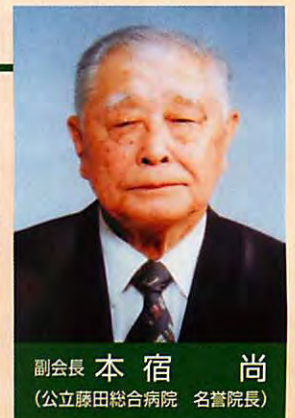
スケート・スキーの冬季国体が終了し2011年度の熾烈な各県の順位争いが始まった。是非今年度本県は20位台に復活することを期待したいものである。

この国体に関しては、以前から肥大化による自治体経済の圧迫、無理な順位争いからくる移入選手、ジプシー選手の問題、各競技団体の意識の違いからくる、必ずしも最高レベルの大会と言えないことによる縮小化の傾向が見られるが、国体がこれまで果たした役割、即ち現在日本を代表する選手の殆どが国体を経て成長してきたこと、地方におけるハード面の整備はまだまだ国体の様な大規模大会を契機としなければならないことを思えば、今まで果たしてきた国体の役割は大きく、国体をこのまま矮小化してよいものだろうか。是非国体競技の内容を一層充実して名実ともに日本の最高の大会にすべく地方からも発信してもらいたいものである。

さて、その国体で本県が恒久的な好成績をあげるにはどのような方策があるだろうか。

競技力の強化にはエリート集団を選び集中的に訓練するのが手っ取り早いですが、普及を進めスポーツの裾野を広げることが、迂遠ではあるが将来の名選手を生む土壌になるのではないかと考える。エリート教育には勿論スポーツの専門家があたればよく、県体協としても一つの仕事として、結果はすぐに出ないとしてもスポーツを文化として更に県民に認識させることが大切である。元来スポーツは人間社会にとって必須のものではないが人間にしかできない文化である。県民がスポーツに親しみ、生涯にわたって生活の一部になるようにしたいものである。

まず第一に、幼少期にスポーツ嫌いをつくりたくないこと、勝敗にこだわり無理な練習をさせることなどもってのほかである。あくまで成長期であることを考え、身体の鍛錬を主体として、栄養、休養を十分考えて将来に備えるべきである。勿論スポーツマンとして大成させるにはDNA



副会長 本宿 尚
(公立藤田総合病院 名誉院長)

を始めとする適性の問題があることは言うまでもないが、従来言われてきた日本人の俊敏性にたくましい躯幹が加われば更に強い選手が生まれること必定である。

少子化の時代に中高の部活を今後維持することはこれから非常に困難になってくると思われるが、先輩に対する礼儀、後輩にそそぐ愛情、人と人との絆を大切にする人間関係を考えると人間教育の場としてすてがたいものがある。甲子園、各種の駅伝等が、プロに匹敵する多くの関心を集めるのはまさにその純粋さと真剣さにあるのである。

この日本の伝統である学校スポーツに加えて地域スポーツもこれから発展させなければならない。幸い本県の総合型地域スポーツクラブの普及率は他県に比して決して劣っていないが、その活動は未だしの感じがある。まだまだスポーツにお金を使うという感覚のなさからくる運営資金の面、競技施設利用に関するいろいろな障害等改善すべき点が多々ある様に思われる。どうか高齢化社会では「金力よりも筋力」との言を忘れることなく生涯スポーツにいそしんでもらいたいものである。

本県は幸い福島大学という日本で一流の頭脳集団、技術集団をそばに持っている。これを活用しないということはない。どうか大学、地方、双方でもっと交流すべきではないだろうか、一工夫あって欲しい。

最後に本県のハード面で欠けている点を思いつくまにあげると、競泳・飛び込み・シンクロに水球ができる総合的なプールと武道館、屋内競技場等があげられるのでないだろうか。

どうか、今後も官民一体となりスポーツ王国、福島をつくっていただきたい。

も

1 巻頭言

2 第66回 国民体育大会成績

く

3 第66回 国民体育大会 冬季大会寄稿

じ

5 平成22年度 (財)福島県体育協会 表彰式

7 平成22年度 うつくしまスポーツキッズ発掘事業

9 平成22年度 優秀指導者養成事業

10 平成22年度 福島県スポーツ指導者研修会

11 スポーツ医事・トレーニング相談事業の様子
スキーリゾートふくしま創造会議

12 (財)日本体育協会公認「スポーツ指導員」養成講習会
(財)日本体育協会公認スポーツ指導者等表彰
(財)福島県体育協会チャリティーボウリング

13 みんなでつくろう総合型! 総合型地域スポーツクラブ
編集後記

14 インフォメーション

【表紙写真説明】

少年男子ジャイアントスラローム 第3位 大山瑠 選手(猪苗代高校2年)〈写真提供:福島民報社〉

成年男子Cクロスカントリー 第8位 金丸哲 選手(ゴールドリンク)〈写真提供:福島民報社〉

成年女子Bクロスカントリー 第8位 宗像千佳 選手(郡山自衛隊)〈写真提供:福島民報社〉

少年女子2000mR 第6位

成年男子アイスホッケー

第66回 国民体育大会冬季大会結果

1 参加状況

大会	区分	会期	開催地	団長	参加競技数	派遣人数			
						役員	監督	選手	合計
スケート競技会 アイスホッケー競技会		平成23年 1/26(水)~1/30(日)	青森県 森戸市	佐藤 憲保	2	10	5	30	45
スキー競技会		平成23年 2/12(土)~2/15(火)	秋田県 鹿角市	渡部 孝美	1	10	10	47	67

2 競技成績

大会	区分	天皇杯				皇后杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順位	競技得点	参加得点	得点合計	順位
スケート競技会		3.0点	10点	13.0点	24位	3.0点	10.0点	13.0点	19位
アイスホッケー競技会		0.0点	10点	10.0点	—	—	—	—	—
スキー競技会		15.0点	10点	25.0点	12位	5.0点	10.0点	15.0点	13位
合計		18.0点	30点	48.0点	26位	8.0点	20.0点	28.0点	22位

3 入賞状況

スケート競技 競技得点 3.0点 天皇杯 24位 皇后杯19位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年女子	スピード 2000mR	6位	3.0点	渡邊 唯	郡山商業高等学校3年
				吾妻 優	郡山商業高等学校3年
				佐藤 万純	郡山商業高等学校3年
				古川 栞有	郡山商業高等学校1年
				平泉 絵理	郡山商業高等学校1年

スキー競技 競技得点 15.0点 天皇杯 12位 皇后杯 13位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子B	ジャイアントスラローム	5位	4.0点	田部井 裕美	沼尻高原ロッジ
少年男子	ジャイアントスラローム	3位	6.0点	大山 瑠	猪苗代高等学校2年
成年男子C	クロスカントリー個人	8位	1.0点	金丸 哲	ゴールドリンク
成年女子B	クロスカントリー個人	8位	1.0点	宗像 千佳	郡山自衛隊
少年男子	コンバインド	6位	3.0点	渡部 剛弘	猪苗代高等学校2年



国体に出場して得たもの・そしてこれから

スピードスケート 少年女子 **渡邊 唯**
(福島県立郡山商業高校)

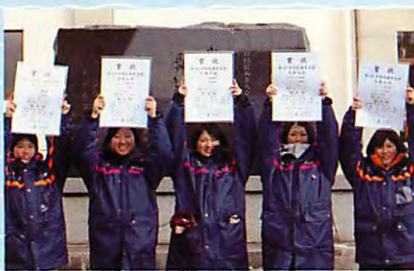


高校3年間、少年女子の選手として国体に出場しました。主な出場種目は短距離とリレー競技でした。初出場となった1年目は、緊張と不安でいっぱいでした。500mでは全力で挑みましたが、力が足りず良い結果を残せませんでした。1000mは責任先頭制があるため、最低でも「責任先頭完了」を目標にレースに挑みましたが、先頭に出られずポイントを獲得することができませんでした。どちらの種目も全国の厚い壁を感じたと同時に、克服すべきことを確認することができ、この悔しい思いをバネにオフシーズンの陸上トレーニングに励んできました。

2年目は、全国インターハイでも自己記録を大きく更新しての国体出場となり、レースに出場できる楽しさと、結果を残したいという気持ちが強かったことを今でも思い出します。1000mでは「責任先頭」を完了することができましたが、ゴール前での競り合いで負けてしまいあと一歩のところまで決勝に残れず、悔しい思いをしました。その分、そのあとに実施されたリレー競技では、メンバーの4人がそれぞれの力を出し切り5位入賞を果たすことができました。その結果、福島県に初の競技得点をもたらすことができ、ご指導いただいている先生方と一緒に、その達成感と喜び、そして嬉しさを分かち合いました。

3年目は、高校生活最後の集大成とするため結果を残し、納得のいく滑りをするのが目標でした。しかし、500mでは思うような結果を残せず、1000mでは前日に体調を崩してしまい出場できませんでした。自分の不甲斐なさに悔しくて仕方ありませんでしたが、気持ちを切り替え、リレー競技に出場できるように体調を整えることに専念しました。トレーナーの方のご指導もあり、リレー競技に間に合うことができました。昨年を上回る結果を残そうとメンバー4人が団結してレースに臨みました。しかし、思い通りのレース展開ができず、6位という結果に終わり、残念ながら去年の成績を上回ることが出来ませんでした。このメンバーで、そして3年間の集大成として連続入賞を果たすことができたことは、他のメンバーにも感謝の気持ちを持つことができました。

私は3年間、国体に出場させていただきましたが、とても悔しい思いをたくさんしました。しかし、その度に先生方や連盟関係者、そして家族などたくさんの方々を支えられていることも実感しました。そして入賞を果たした時の嬉しさや喜び、達成感など数多くの感動を得ることができました。今後は大学に進学し、スケート競技を続けます。来シーズンからは、成年女子の一員として活躍するためにも、今までに得たものを最大限に活かし、課題を克服して一回りも二回りも成長していきたいと思えます。



少年女子スピードスケート
2000mR 第6位
(左から) 古川栞有 吾妻優 佐藤万純
渡邊唯 平泉絵理



少年男子ジャイアントスラローム
第3位 大山瑠 選手



少年男子コンバインド
第6位 渡部剛弘 選手



成年女子B ジャイアントスラローム
第5位 田部井裕美 選手

目標達成とこれから

クロスカントリースキー 成年男子C
金丸 哲
 (ゴールドリンク)



一昨年の国体に14年ぶりに復帰することができ、今大会が3度目の挑戦になりました。

復帰から今大会までには友人をはじめ関係者、家族の協力があり何とか国体で戦える身体ができ、大会に挑むことができました。大会会場にはレースの2日前に入りましたが直前の合宿(猪苗代町)で良いトレーニングができましたので不安はありませんでした。当日は体調も良かったので1点でも多く得点することだけを考えスタートしました。

レースの序盤は止めワックス、グライダーワックスの状態をチェックします。今大会は選手より一足早く現地入りし調整をして頂いていましたワックスチームのお陰でどちらのワックスも最高でした。確認終了後は何の迷いもなくレースに集中することができました。

レースの終盤ラスト1kmでは身体が自分の思うように動かなくなり苦しかったのですが、スタッフや当日福島から駆け付けていただいた方、家族の大声援のお陰で何とかゴールすることができました。レース後に、スタッフからラスト1kmを4位で通過していたことを聞き、もしあの大声援が無かったら更に順位を下げていたなと思い、応援が選手に与えるパワーを再確認することができました。結果、競技得点を獲得する目標は達成できました。

最終日のリレーはアンカーとして出場することができました。客観的に、8位入賞は現状の実力では無理な位置でしたので、目標を昨年の16位から最低でも13位と明確にして挑みました。レースは予想通り厳しい流れになりましたが、各個人が県の代表としてしっかり自覚を持って走ったと思います。結果は最低目標達成の13位でした。

まだまだ若いメンバーで向上心も強いので、最低でも再来年までには実力で入賞できるチームに育っていくと思います。

復帰をして国内のトップクラスの大会で感じるのですが、非常にスピード化が著しく、またパワーのある選手が上位にいます。この変化に現時点で福島県の選手は大きく後れをとっています。私個人、また福島県チームといたしましてもいち早く対応をして全国のトップに追い付かなければいけないと思います。

来年度以降も福島県チームのレベルアップの為に協力と努力をしていきたいと思っておりますので応援よろしくお願いたします。



あきた鹿角国体に参加して

クロスカントリースキー 成年女子B
宗像 千佳
 (郡山自衛隊)



私は結婚を機に、平成20年に開催された国体を最後にスキーを引退し、翌年の12月に長男を出産しました。育児休暇中、バンクーバーオリンピックをテレビで見たり、各種大会でのスキー仲間の活躍を新聞等で見聞したりし、もう一度スキーがしたいと思うようになりました。そして、仕事復帰を機に、家族・上司等に相談し周囲の理解を得て、スキー競技に復帰することになりました。

昨年の12月より本格的に練習が始まり、中旬には雪上での練習も始まりました。久々のスキーは、ブランクもあり身体的に辛いということもありましたが、何よりスキーが出来るということに嬉しさと楽しさを感じ、毎日充実した練習が出来ました。しかし、疲れも溜まり、心身共に辛い時期もありましたが、息子の笑顔や夫の協力で乗り越えることが出来ました。

県予選では緊張のあまり眠れない日もありました。しかし、先輩から「緊張するということは、今まで真剣にスキーに向き合ってきた証」との激励のおかげで、私のスキー経験に自信を持つと強く思うことができ、大会はおもいきり滑ることが出来ました。

いよいよ国体当日、私の出場した成年女子Bの顔ぶれは、3年前と比べると知らない選手ばかりで、自分にはブランクもあるということもあり不安でした。しかし、私は新たな挑戦者であること!!という気持ちを持ち、そして、楽しいスキーをさせてもらっている家族・周囲の人達に感謝しつつ、レースに挑みました。一緒に出場している選手の中には、元オリンピック選手等もあり、正直厳しいレースでしたが、挑戦者であることと感謝の気持ちを胸に無我夢中で滑った結果、8位に入賞出来ました。国体入賞を目標に練習してきましたが、復帰後初の国体において入賞出来たことは、今までになく嬉しく、そして、私にとってより大きな自信になりました。

今シーズンを終え、国体8位入賞、そしてスキーを楽しめたのも、周囲の協力・理解、家族の支え・笑顔のおかげだと思います。

スキーが出来る環境を与えてくれた人達に心から感謝しつつ、また新たな気持ちで「挑戦者として」来年にむけ、スキー・仕事・育児と頑張っていこうと思います。



平成22年度 財団法人福島県体育協会 表彰式

平成22年度財団法人福島県体育協会表彰式は、平成22年11月26日に福島市のウエディングエルティで行われました。

式では各受賞者に佐藤雄平会長より表彰状が授与され、県議会議長の佐藤憲保様、県教育長の遠藤俊博様より祝辞を賜り、受賞者を代表して優秀選手賞を受賞された窪木一茂選手(自転車競技)より謝辞がありました。

表彰式終了後行われた懇談会では、受賞者と会長とのスナップ撮影や会長をはじめ来賓の皆様より受賞者一人ひとりへのお祝いと激励がなされました。

下記は今回受賞された皆様の紹介です。(敬称は省略させていただきます。)



表彰を受ける宮野将太郎君(勿来工業高校)

スポーツ功労賞 多年にわたり、本協会の運営並びに事務遂行に貢献し、本県スポーツの振興に功績のあった方々

- 武山 上雄 (福島県ソフトテニス連盟)
- 鶴巢 守 (福島県スキー連盟)
- 阿部 武市 (福島県スポーツチャンバラ協会)
- 渡部 高英 (福島県バスケットボール協会)
- 須藤 勇二 (福島県スケート連盟)
- 吉野 純一 (いわき市体育協会)
- 佐藤 良宗 (福島県柔道連盟)
- 国分 洋 (福島県ソフトボール協会)
- 加藤 昭三 (福島県ラグビーフットボール協会)
- 若杉 浩通 (福島県レスリング協会)

優秀選手賞(個人) 本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた選手及び国際大会に出場した選手

- | | | |
|--|--|---|
| <p>陸上競技</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 伊藤 彩 (喜多方高校3年) ● 齋藤 裕香 (会津学鳳高校3年) ● 田村 飛鳥 (田村高校3年) ● 山平 紗代 (磐城高校3年) ● 五十嵐麻央 (会津学鳳高校3年) ● 千葉 麻美 (ナチュリル) ● 青木沙弥佳 (ナチュリル) ● 渡辺 真弓 (ナチュリル) ● 佐藤 真有 (ナチュリル) ● 記野 友晴 (福岡大学3年) ● 梶 将徳 (早稲田大学2年) ● 岡崎 達也 (福島市立福島第四中学校3年) ● 増田 優太 (会津農林高校3年) ● 佐藤 宏樹 (金透TAC) ● 伊藤 丈晃 (福島市立福島第一中学校2年) ● 宗像 善也 (郡山市立郡山第五中学校1年) ● 佐久間幸希 (二本松市立東和中学校1年) ● 鎌田 悠暉 (郡山萌世高校 定時制) <p>ソフトテニス</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 佐川 裕太 (田村高校3年) ● 福本 良隆 (田村高校3年) <p>サッカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 浜田 通 (JFAアカデミー福島(富岡高校3年)) ● 和田奈央子 (JFAアカデミー福島(富岡高校2年)) ● 川島はるな (JFAアカデミー福島(富岡高校2年)) ● 田中 陽子 (JFAアカデミー福島(富岡高校2年)) ● 本多 由佳 (JFAアカデミー福島(富岡高校2年)) <p>卓球</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 遊佐 充裕 (南相馬市役所) <p>剣道</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 鶴岡 貴大 (湯本高校3年) <p>水泳</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小林 千桜 (福島市立北信中学校3年) ● 安部翔一郎 (SW大教小名浜(いわき市立玉川中学校1年)) ● 服部 翼 (福島SS(福島市立渡利中学校1年)) ● 加藤 樹 (福島SS(福島市立岳陽中学校1年)) ● 小松 桃子 (SW大教小名浜(いわき市立磐崎中学校3年)) ● 山口 雅文 (ミズノ株式会社) ● 加藤 和 (山梨学院大学3年) ● 吉田 佳世 (日本体育大学1年) ● 小林 和真 (筑波大学1年) ● 宗像 康誠 (福島ダイビングクラブ(郡山市立安積第三小学校5年)) ● 稲澤 隆輝 (福島ダイビングクラブ(郡山市立郡山第六中学校2年)) ● 福島 慧 (福島ダイビングクラブ(郡山市立芳山小学校6年)) <p>自転車競技</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 橋本 龍弘 (日本大学4年) ● 古河 麻美 (日本体育大学2年) ● 緑川 竣一 (学法石川高校3年) | <ul style="list-style-type: none"> ● 樋口 晴香 (白河実業高校3年) ● 窪木 一茂 (日本大学3年) ● 久保田元気 (学法石川高校3年) ● 我妻 優弥 (学法石川高校3年) ● 小酒 大勇 (平工業高校2年) <p>ホッケー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生方 育志 (修明高校3年) <p>相撲</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 薄 勇樹 (東京農業大学4年) <p>バドミントン</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高上 麟龍 (GPWジュニア(郡山市立富田小学校5年)) ● 齋藤 亘 (富岡町立富岡第一中学校 教員) ● 塚野美和子 (福島県バドミントン協会) ● 齋藤 勝明 (富士通グループ) ● 五十嵐敏幸 (富士通グループ) ● 大堀 均 (富岡高校 教員) ● 添田 喜紀 (福島県バドミントン協会) ● 石井 正男 (福島県バドミントン協会) ● 吉田 邦男 (㈱ゼビオ) ● 遠藤夫美子 (福島県バドミントン協会) ● 桃田 賢斗 (富岡高校1年) ● 木村 百花 (富岡高校2年) ● 齋藤 太一 (富岡高校2年) ● 渡辺 勇大 (富岡町立富岡第一中学校1年) ● 西 豊 (富岡町立富岡第一中学校2年) ● 小林 優吾 (富岡町立富岡第一中学校3年) ● 古賀 穂 (富岡町立富岡第一中学校2年) ● 山角 太佑 (富岡町立富岡第一中学校3年) ● 保木 卓朗 (富岡町立富岡第一中学校3年) ● 大堀 彩 (富岡町立富岡第一中学校2年) ● 星 千智 (富岡町立富岡第一中学校3年) <p>アマチュアボクシング</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 齋藤 大 (財団法人福島市スポーツ振興公社) ● 東城 伸治 (野宮フィットネスボクシング) ● 片山聡一郎 (東洋大学3年) <p>柔道</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大和田 巧 (田村高校2年) ● 深谷 実紀 (仙台大学1年) ● 岩崎 康介 (いわき市立四倉中学校3年) ● 遠藤 瑛穂 (郡山萌世高校 通信制) <p>体操</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 石井 佑佑 (会津工業高校3年) <p>スキー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 井上賢之介 (早稲田大学1年) <p>馬術</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 横山奈緒美 (小高商業高校2年) ● 宮野将太郎 (勿来工業高校1年) <p>ウエイトリフティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 清野 裕司 (福島明成高校 教員) | <ul style="list-style-type: none"> ● 鈴木 宗徹 (田村高校 教員) ● 黒江 雄治 (本宮高校 教員) ● 八巻 靖 (平成国際大学4年) ● 吉田 真弘 (平成国際大学2年) ● 吉田 大祐 (福島県警) ● 官野 由佳 (平成国際大学2年) ● 小湊 和輝 (日本大学4年) <p>レスリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 長島 和幸 (クリナップ株式会社) ● 福田 広樹 (自衛隊体育学校) ● 五十嵐大介 (男山酒造) ● 渡部 広章 (田島高校3年) ● 星 翔也 (田島高校3年) <p>フェンシング</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 廣瀬 新 (桜の聖母学院小学校6年) <p>アーチェリー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 西田 昌司 (アストラゼネカ㈱) <p>なぎなた</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 栗城 太雅 (会津学鳳高校3年) ● 原田 瞳 (会津若松市立第二中学校3年) ● 西村 真法 (会津若松市立第一中学校3年) ● 小杉 一騎 (会津若松市立第一中学校3年) ● 古館 佳樹 (会津若松市立鶴城小学校4年) ● 道明 佳保 (会津若松市立第二中学校3年) ● 二瓶 未夢 (会津若松市立第二中学校3年) ● 佐藤 里咲 (会津若松市立第四中学校1年) ● 栗城 桃 (会津若松市立第一中学校2年) ● 滝澤 李穂 (会津若松市立謙教小学校4年) ● 佐々木つづ (会津坂下町立坂下小学校4年) ● 松村 俊祐 (大正大学3年) <p>ゴルフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 酒井 美紀 <p>カヌー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 久野 綾香 (㈱久野製作所) ● 宮田 悠佑 (鹿屋体育大学1年) ● 國嶋 論 (日本体育大学4年) ● 根本 孝幸 (日本体育大学4年) ● 和田 恭平 (専修大学4年) ● 三浦 翔太 (専修大学1年) <p>トライアスロン</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 石塚 祥吾 (神奈川大学3年) <p>車椅子バスケットボール</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 増子 恵美 (財団法人福島県障がい者スポーツ協会) ● 佐藤 聡 (㈱ダイユーエイト) ● 豊島 英 (東京電力㈱福島第一原子力発電所) <p>ボート</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小瀧 和徳 (会津高校3年) ● 五十嵐 優 (会津高校2年) |
|--|--|---|

優秀選手賞(団体) 本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた団体

陸上競技

- 平成22年度全国高等学校総合体育大会陸上競技 女子4×400mR 会津学鳳高校
- 第58回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 女子4×100mR ナチュリル
- 第94回日本陸上競技選手権リレー競技大会 女子4×100mR ナチュリル
- 第94回日本陸上競技選手権リレー競技大会 女子4×400mR ナチュリル
- 第58回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 女子総合 ナチュリル
- 天皇盃第15回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会 福島県

野球

- 高円宮賜杯第30回記念全日本学童軟式野球大会 常磐軟式野球スポーツ少年団

ソフトテニス

- 第27回全日本小学生ソフトテニス選手権大会 福島県女子選抜

卓球

- 第29回全日本クラブ卓球選手権大会 男子小中学生の部 富久山卓球クラブ
- 第29回全日本クラブ卓球選手権大会 女子小中学校の部 本宮卓球クラブ

水泳

- 第32回JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会 競泳競技 男子200mリレー 福島SS
- 第32回JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会 競泳競技 男子200mメドレーリレー 福島SS

自転車競技

- 平成22年度全国高等学校総合体育大会自転車競技 4kmチームパーシュート 学法石川高校
- 第65回国民体育大会自転車競技 4km 団体追抜競走 福島県

バドミントン

- 第10回全日本中学生バドミントン選手権大会 福島県
- 第65回国民体育大会バドミントン競技 少年男子 福島県

ソフトボール

- 第31回全日本クラブ女子ソフトボール選手権大会 スマイル福島
- 第65回国民体育大会ソフトボール競技 成年男子 福島県成年男子

空手道

- 第29回全国高等学校空手道選抜大会 男子団体形 松韻学園福島高校
- 第18回全日本中学生空手道選手権大会 男子団体形 いわき市立四倉中学校

カヌー

- JOCジュニアオリンピックカップ平成22年度全国中学生カヌー大会 C-2 500m 二本松市立東和中学校
- JOCジュニアオリンピックカップ平成22年度全国中学生カヌー大会 WK-2 500m 二本松市立東和中学校
- 平成22年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技 K-2 500m 二本松工業高校
- 平成22年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技 K-4 500m 安達高校
- 平成22年度日本カヌースプリントジュニア選手権大会 K-4 500m 福島県カヌー協会
- JOCジュニアオリンピックカップ平成22年度全国中学生カヌー大会 K-4 500m 二本松市立東和中学校
- JOCジュニアオリンピックカップ平成22年度全国中学生カヌー大会 WK-4 500m 福島県カヌー協会

綱引

- 2010全日本ジュニア綱引選手権大会 ジュニア280kg以下クラス ヤングブラザーススポーツ少年団
- 2010全日本ジュニア綱引選手権大会 男子ジュニア360kg以下クラス 木幡べんてんJr

バドミントン

- 平成22年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技 男子団体 富岡高校
- 平成22年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技 女子団体 富岡高校
- 平成22年度全国中学校体育大会バドミントン競技 男子団体 富岡町立富岡第一中学校
- 平成22年度全国中学校体育大会バドミントン競技 女子団体 富岡町立富岡第一中学校

優秀指導者賞 優秀選手の育成に直接貢献した指導者

陸上競技

- 川本 和久 (福島大学 教授)

陸上競技

- 下重 庄三 (田村高校 教員)

陸上競技

- 雪下 良治 (会津学鳳高校 教員)

野球

- 橋本 幸三 (常磐軟式野球スポーツ少年団)

ソフトテニス

- 大貫 雄二 (西郷ソフトテニス協会)

卓球

- 荒井 孝芳 (富久山卓球クラブ)

卓球

- 金澤 勝彦 (本宮卓球クラブ)

卓球

- 五十嵐修二 (喜多方卓球ランド)

自転車競技

- 矢吹 靖弘 (学法石川高校 教員)

バドミントン

- 大堀 均 (富岡高校 教員)

バドミントン

- 齋藤 亘 (富岡町立富岡第一中学校 教員)

ソフトボール

- 旗野 一典 (エプソントヨコム(株))

空手道

- 本間 大造 (松韻学園福島高校 教員)

空手道

- 松本 晃 (福島県空手道連盟)

カヌー

- 軽部 英敏 (安達高校 教員)

カヌー

- 山田 博史 (二本松市立東和中学校 教員)

綱引

- 山田 秀衡 (ヤングブラザーススポーツ少年団)

綱引

- 桜本 喜也 (木幡べんてんJr)

社会体育優良団体賞

地域・職域のクラブとしての活動を通して、本県の地域スポーツ振興に功績のあった団体

卓球

- 四倉卓球クラブ

特別賞

国民体育大会の競技別優勝や世界大会で特に顕著な活躍をした団体・個人

- 遠藤 尚 (忍建設)
バンクーバー2010オリンピック冬季競技大会 スキー競技 フリースタイル 男子モーグル 第7位
- 穂積 雅子 (ダイチ(株))
バンクーバー2010オリンピック冬季競技大会 スケート競技 スピードスケート 女子 チームパシュート 第2位 3000m 第6位 5000m 第7位
- 鈴木 猛史 (駿河台大学)
バンクーバー2010パラリンピック冬季競技大会 スキー競技 アルペン シットイング ジャイアントスラローム 第3位 スーパー-G 第5位 スーパーコンパインド 第5位



受賞者代表謝辞を述べる窪木一茂選手(日本大学)



会長とのスナップ撮影

平成22年度 うつくしまスポーツキッズ発掘事業

将来有望な人材の発掘・確保・育成を目的に行ってきた本事業は、今年で6年目を迎えました。

「スポーツが大好き」「なにかスポーツをやってみたい!!」という小学生を対象に、自分に合った種目や興味のあるスポーツに出会い、夢や希望をもってスポーツに取り組むことができるよう支援をしています。

第1ステージ◆スポーツキッズ発掘テスト◆

第1ステージ・うつくしまスポーツキッズ発掘テストは、5月～7月の間に、福島県内6会場で行われました。県内全ての小学校に募集をしたところ、多数の応募があり、517名の子どもたちが元気に参加しました。

選考の結果、51名が第2ステージに進みました。

■スポーツキッズ発掘テストの内容

テスト内容（7種目実施）			
25m走 四方向ステップ	膝立ちボール投げ 反復横跳	全身反応テスト しっぽとりゲーム	立五段跳

■スポーツキッズ発掘テストの日程と参加者数

実施会場	実施日	会場	参加者数
県北会場	5月30日	あづま総合体育館	149名
県南会場	6月5日	須賀川アリーナ	110名
会津会場	6月12日	河東総合体育館	55名
県中会場	6月19日	本宮市総合体育館	79名
相双会場	6月26日	南相馬市スポーツセンター	36名
いわき会場	7月3日	いわき市立関船体育館	88名

■スポーツキッズ発掘テストの参加者数内訳

参加者	男子	女子	学年合計
3年生	131名	83名	214名
4年生	89名	76名	165名
5年生	85名	53名	138名
合計	305名	212名	517名



反復横跳



四方向ステップ



立五段跳



しっぽとりゲーム



膝立ちボール投げ

第2ステージ◆クロストレーニング◆

第2ステージに選考されたキッズは、本協会と競技団体が連携して実施したクロストレーニングに参加しました。クロストレーニングは、8月のラグートレーニング（開始式）から、12月の宿泊トレーニング（修了式）まで、全10回が行われました。

宿泊トレーニングで実施した、トップアスリート交流会には、北京オリンピック・陸上競技銅メダリストの朝原宣治さんと世界陸上大阪大会日本代表の荒川大輔さんをお迎えし、ミニハードルなどを使った様々なトレーニングやチーム対抗リレーなどの陸上教室を行いました。

また、保護者を対象として成長期の障害予防に関する講習会や、キッズと保護者合同の栄養学教室も実施しました。



■ クロストレーニングの種目と日程

種目	主管団体	日程	会場
ラダートレーニング(開始式)	県体協(外部指導者招へい)	8月28日	本宮市
バランスボールトレーニング	県体協(外部指導者招へい)	9月5日	郡山市
リズムダンストレーニング	県体協(外部指導者招へい)	9月16日	郡山市
バドミントン	県バドミントン協会	9月26日	猪苗代町
バスケットボール	県バスケットボール協会	10月3日	二本松市
コーディネーショントレーニング	県体協(外部指導者招へい)	10月17日	小野町
アイスホッケー	県アイスホッケー連盟	11月6日	郡山市
ラグビーフットボール	県ラグビーフットボール協会	11月21日	福島市
ボクシング	県アマチュアボクシング連盟	12月4日	いわき市
宿泊トレーニング(修了式)	県体協(外部指導者招へい)	12月18日~19日	福島市



開始式



バランスボールトレーニング



ボクシング



バスケットボール



トップアスリート交流会

第2ステージ◆体験プログラム◆

クロストレーニングとは別に、競技団体主催の体験教室を実施しました。

■ 体験プログラムの種目と日程の種目と日程

種目	日程	会場地	種目	日程	会場地
スポーツチャンバラ①	8月29日	郡山市	スポーツチャンバラ②	10月24日	相馬市
スキー(モーグル)	9月12日	猪苗代町	スケート①	11月20日	郡山市
ボート	9月12日	喜多方市	レスリング②	11月20日	南会津町
アーチェリー	9月20日	福島市	スケート②	11月27日	郡山市
カヌー	9月26日	二本松市	銃剣道	12月4日	福島市
テニス①	10月2日	本宮市	スキー(ネイチャースキー)	23年1月16日	北塩原村
レスリング①	10月9日	いわき市	(10競技14教室開催)		
テニス②	10月16日	本宮市			



スケート



アーチェリー

第3ステージ◆ジュニアサポートプログラム◆

昨年度までに選考された小学6年生から中学3年生までのジュニア49名を対象に基礎運動能力の向上を目的としたプログラムを実施しました。

また、保護者を対象に発育発達やトレーニングウエアなどに関する講習会も実施しました。

■ ジュニアサポートプログラムの種目と日程

種目	主幹団体	日程	会場
開始式・ラダートレーニング	県体協(外部指導者招へい)	8月28日	本宮市
フィットネステスト・エクササイズプログラム	県体協(仙台大学)	9月5日	郡山市
エクササイズプログラム	県体協(仙台大学)	10月17日	小野町
フィットネステスト・エクササイズプログラム	県体協(仙台大学)	11月28日	福島市
トップアスリート交流会・修了式	県体協(外部指導者招へい)	12月19日	福島市



フィットネステスト



エクササイズプログラム

平成22年度

優秀指導者養成事業

本協会では、スポーツ選手育成・強化事業推進方針の重点事項として「指導者の育成・確保」を掲げています。そこで、競技力向上のための指導者養成を目的とした「優秀指導者養成事業」を平成17年度から実施しています。

今年度は平成21年度より指定された、ネット型5競技の29名が対象で、3回にわたって講習会が行われました。

対象: ネット型5競技(ソフトテニス・テニス・卓球・バドミントン・バレーボール)



第1回講習会 講師の勝田隆先生



第2回講習会 講師の白石豊先生



第3回講習会 講師の川本和久先生

第1回

- 講師** 勝田 隆 先生(仙台大学)
- 日時** 平成22年5月21日(金) 13:30~15:30
- 場所** ふくしま中町会館
- テーマ** 「スポーツと向き合う力」
～トップアスリートをめざす、育てるために「知っておくべきこと」「身に付けておくべきこと」～



熱いディスカッション

勝田先生は、「スポーツ情報戦略」、「コーチング学」における、日本の第一人者。また、日本オリンピック委員会を中心に日本のスポーツ界の先端で活躍されています。今回は、トップスポーツに関わるリスクについて、先生の豊富な経験談を交えお話をいただきました。また、各グループでこれまでの経験をもとに、ディスカッションをとおしてリスクについて学びました。

第2回

- 講師** 白石 豊 先生(福島大学)
- 日時** 平成22年11月29日(月) 13:00~15:00
- 場所** ふくしま中町会館
- テーマ** 「自信を育てるメンタルトレーニング」



トレーニングの実践

白石先生は、「スポーツ運動学」、「メンタルトレーニング」における日本の第一人者で、プロスポーツ選手を含め多くの競技者をメンタルサポートし、数々の成果をあげられています。テーマである「自信を育てるメンタルトレーニング」について、受講者のこれまでの指導について振り返るとともに、目標設定の技術などを実践、具体例を交えながらお話をいただきました。

第3回

- 講師** 川本 和久 先生(福島大学)
- 日時** 平成23年2月21日(月) 13:30~15:30
- 場所** 福島県自治会館
- テーマ** 「勝利への伴走者」



川本和久先生の熱いメッセージが伝わってきます

川本先生は、福島大学陸上競技部監督として日本インカレ女子総合2連覇をはじめ、北京オリンピックへ教え子を5名出場させるなど、日本陸上女子短距離界の「カリスマ指導者」と言っても過言ではないでしょう。今回、スケジュールの合間を縫っていただき講演の実現となりました。テーマは、「勝利への伴走者」です。コーチの自己実現、成功の秘訣などについて、とても熱く情熱的なお話でした。

平成22年度 福島県スポーツ指導者研修会

第2回研修会

福島県スポーツ指導者協議会では、指導者の資質向上と指導活動の充実を図るために年3回の研修会を実施していますが、今年度は第2回研修会を全県ブロックで第3回研修会を県南ブロックで開催しました。

●期 日／平成22年12月23日(木)

●場 所／ユラックス熱海

●内 容／

講 義 「スポーツと栄養について」

講 師 山崎 有理子氏

公立藤田総合病院 管理栄養士

(財)日本体育協会公認スポーツ栄養士

研究協議 「公認スポーツ指導者の活躍できる場をどのように広げるべきか」

ファシリテーター 塩田 幸男氏 (財)日本体育協会インフォメーションオフィサー

中澤 謙氏



午前の講義では、「スポーツと栄養」について、基本の理論的内容から実際の献立の立て方までを学びました。丁寧で具体的な説明に受講者は理解を深めました。

午後の研究競技はテーマについて、ブレインストーミング(集団でアイデアを出し合うことによって相互交錯の連鎖反応や発想の誘発を期待する技法)でグループワークを進め、解決策や具体的活動について意見をまとめ、発表し合いました。



第3回研修会

●期 日／平成23年1月30日(日)

●場 所／サンフレッシュ白河

●内 容／「コーディネーショントレーニング」

講 師 菅野 美津枝氏 渡部 琢也氏 小田 俊一氏

佐藤 一 氏 小野 寛久氏

(JACOT)

午前はコーディネーショントレーニングの理論と方法について、事例を挙げながら、わかりやすい講義を受けました。

午後は、具体的な実践内容と工夫されたトレーニングを実際に行い、楽しみながら実践する方法について学びました。



公認スポーツ栄養士の紹介

山崎有理子氏は、県内初の日体協公認スポーツ栄養士として、平成22年10月1日登録されました。これは、地域におけるスポーツ活動現場や都道府県レベルの競技者育成において、スポーツ栄養の知識を持つ専門家として、栄養教育や支援を行うための資格です。

山崎有理子氏のコメント

これからは、競技水準や年齢層にかかわらず、監督やコーチなど指導者のもと、スポーツ医・科学の各専門分野のスタッフと連携し、スポーツ現場のニーズに適切に応えられるような栄養サポートをしていきたいと思えます。



スポーツ医事・ トレーニング相談事業の様子

4/28 新地町スポーツ少年団

講義：「スポーツと栄養」
講師：山崎有理子氏（公立藤田総合病院）

5/20 県学校保健会県北支部

講義：「スポーツ障害について」
講師：小林光幸氏（ラソラックス鍼灸整骨院）

8/29 フィットネス本郷

実技：「スポーツマッサージ」
講師：馬場俊輔氏（楓鍼灸治療室）

9/16 西郷第二中学校

講義・実技：「ストレッチング」
講師：藤原健一氏（郡山健康科学専門学校）

10/11 天栄スポーツクラブ

実技：「ストレッチング、バランストレーニング」
講師：二瓶敦志氏（ARCクリニック）

12/3 平養護学校

実技：「腰痛・肩こり予防のストレッチング・トレーニング」
講師：永井隆太郎氏（Jヴィレッジ）

2/6 県アーチェリー協会

実技：「競技特性に応じたトレーニング」
講師：鬼澤武則氏（日体協公認AT）

3/5 喜多方市スポーツ少年団本部

講義：「スポーツ外傷・障害の基礎知識」
実技：「ウォーミングアップ、ストレッチング」
講師：相原 真氏（まこと接骨院）

この事業では、スポーツ愛好者や選手のけが・病
気等に関する相談をはじめ、体力や種目の特性に応
じたトレーニング処方を行い、健全なスポーツ活動
の推進を図る目的として、依頼により、相談員・講
師を派遣しています。相談員・講師は、本協会のス
ポーツ医・科学委員、スポーツドクター部会員、ア
スレティックトレーナー部会員、その他スポーツ医・
科学委員会の認めた方が務めています。今年度は、
延べ58名の相談員・講師を派遣しました。



スキーリゾート ふくしま創造会議

エンジョイデコボコ in 会津磐梯山エリア

遠藤尚選手（バンクーバーオリンピック男子モーグル7位入賞）をは
じめ5名の全日本モーグルナショナルチームメンバーによるスキー講習
会です。華麗なエアとわかりやすいレッスンで参加者に大好評でした。

全国中学校スキー大会来場者おもてなし事業

2月8日と9日、全国中学校スキー大会が猪苗代町で開催されまし
た。来場された方々に会津磐梯山エリアをもっと知っていただこうと
「おもてなし（地元銘菓やパンフレット、飲料の提供）」を行いました。

スキーリゾート創造会議のHPもご覧ください。 <http://www.tif.ne.jp/jp/sp/ski2009/>

スキーリゾートふくしま創造会議ではこの冬、「エン
ジョイデコボコ in 会津磐梯山エリア」「全国中学校
スキー大会来場者おもてなし事業」を行いました。



財団法人日本体育協会公認「スポーツ指導員」養成講習会開催

「スポーツ指導員」とは日体協が進める公認スポーツ指導者制度に基づき、対象に合わせた競技別の技術指導などにあたるための資格です。

今年度は陸上競技・水泳・ソフトテニス・バドミントン・バレーボールの5競技において、養成講習会専門科目講習が県内各地で県内外80名を超える受講者を集めて実施されました。

受講者は、技術指導理論・実技や応急処置など種目に応じた科目を30時間以上受講し、その後検定試験を受けました。

今後は、地域のスポーツ指導者として活躍することが期待されます。

なお、23年度は陸上競技・水泳・ソフトテニス・卓球で公認指導者の養成講習会が県内で開催される予定です。



財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者等表彰

財団法人日本体育協会では、顕著な功績のあった公認スポーツ指導者に対して表彰を行なっています。本年度は12月17日（金）岸記念体育会館にて表彰式が行われました。受賞者は以下のとおりです。

氏名 (敬称略)	市町村	保有資格
兼谷 宏	本宮市	公認スポーツドクター
川本和久	福島市	上級コーチ（陸上競技）
大越博邦	郡山市	指導員（ソフトボール）
松田 義	福島市	ジュニアスポーツ指導員、アシスタントマネジャー



財団法人福島県体育協会チャリティーボウリング

このチャリティーボウリングは、加盟競技団体やスポーツを愛好する人々との親睦を図り、併せて競技力向上関係のチャリティー活動とすることを目的としており、財団法人福島県体育協会が主催し、福島県ボウリング連盟の主管で行われました。

当日は、国体や各種全国大会で、福島県代表として活躍している選手も多数参加し、高い技術を披露していただきました。

- 日 時 平成23年1月30日(日) 13:30～
- 会 場 からしまボウル福島
- 参加人数 58名



開会式 宗形守敏
県体育協会副会長あいさつ



開会式



始球式

鈴木英子
(県ボウリング連盟代表選手)
宗形守敏
(県体育協会副会長)
国井裕一
(県体育協会専務理事)

みんなで作ろう総合型！ 総合型地域スポーツクラブ

かがみいし スポーツクラブ

「かがみいしスポーツクラブ」は、スポーツを通じた「多世代交流」、「仲間づくり」、「健康・生きがいづくり」を推進し、みんなの笑顔があふれる鏡石町にしていきたい！という理念のもと平成21年2月に設立し、鳥見山陸上競技場などの鳥見山公園内体育施設を拠点に活動しています。設立して2年が経過しますが、現在620名のクラブ会員が「みんなが元気 みんなが選手」をモットーにスポーツを楽しんでいます。

クラブでは、定期活動として「サークル活動」、「スクール活動」の2種類の活動を年間通して行っています。

サークル活動は、趣味・健康・仲間づくりなどを目的として、「フットサル」、「バドミントン」など9種目の活動に自由に参加できます。活動種目の中には、「英会話教室（外国人講師）」のような文化活動も取り込まれています。

スクール活動は、競技力向上や大会参加などを目的して団体ごとに活動し、現在16種目19団体がクラブに加盟しています。大会の結果などは可能な限り、毎月クラブが発行している会報に記事を掲載しています。

定期活動とは別に、さまざまなイベントを開催しています。その一つに、運動会「かがみんびっく」があります。「かがみんびっく」は、クラブ会員同士のコミュニケーションを図るイベントとして開催し、毎回子どもからお年寄りまでさまざまな年代の方々の参加があります。参加者は各チームに分かれて、「キンボール」、「長なわとび」、「リレー」などチーム全体が協力して行う種目を楽しみながら交流を図っています。

その他にも、活動拠点の有効活用と自分の力に挑戦する「陸上競技記録会」、ふるさとの再発見を目的とした「ウォークラリーin鳥見山」、トップアスリートの高度な運動技能や人間的魅力に直接触れることのできる「トップアスリート教室」など年間を通してさまざまなイベントを開催しています。

当クラブは、「いつでも」、「だれでも」、「どこでも」、「いつまでも」スポーツを楽しめるクラブとして、クラブ会員や鏡石町民の方々の声を聞きながら、よりよいクラブ運営を図っていきたく思います。

また、クラブに入会し、「スポーツを始めるきっかけができた」、「たくさんの方とスポーツを楽しめるようになった」、「とても健康になった」というたくさんの方々の声を聞けるようなクラブになるように努めていきます。

サークル活動:フットサル、バレーボール、硬式テニス、バドミントン、ランニング、卓球、英会話、水泳、バウンドテニス

スクール活動:フットサル、ジュニア陸上競技、駅伝・ランニング、バスケットボール、インディアカ、バレーボール、バウンドテニス、よさこい、フラダンス、ソフトボール、空手、剣道、サッカー、ミニバスケットボール、水泳

イベント:運動会「かがみんびっく」、ウォークラリーin鳥見山、陸上競技記録会、スキー・スノーボード教室(年2回)、各種教室・講習会、トップアスリート教室、ニュースポーツ体験教室



運動会「かがみんびっく」(キンボール)



陸上競技会



トップアスリート教室(陸上)デモンストレーション
走高跳08日本選手権優勝 09東アジア選手権優勝 土屋光氏



リスクマネジメントに
備えた救急法講習会



SAQトレーニング講習会



みんなが元気、みんなが選手。

かがみいしスポーツクラブ
マスコットキャラクター
「ぴっくん」

【寄贈】 絵本造形作家
菊地 清 先生(鏡石町在住)

平成22年度 福島県県民スポーツ振興協力会員名簿

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

法人団体の部(加入順)

福島県商工会連合会 (有)吾妻印刷 福島県議会スポーツ振興議員連盟 福島交通(株) (株)古瀧 関場建設(株) 富岡町体育協会 福島トヨタ自動車(株) 東京電力(株)福島営業所 クレハ(株)いわき事業所 (株)日進堂印刷所 名木製帽店 福島ガス(株) 六陽印刷(株) 名鉄観光サービス(株) (株)トヨタレンタリース福島 福島観光自動車(株) 福島銀行 (株)ル・プロジェ 医療法人連グループ郡山整形外科リハビリテーション科 第一温調工業(株) 川俣貨物(株)	(株)クラロンスポーツ 福島県旅館ホテル生活衛生同業組合 磐城通運(株) (株)ファルテック福島工場 (株)モリヨシ技研 東北建設(株) 福島県中央商工振興協同組合 タニコ(株) 東北電力(株)福島支店 福浜大一建設(株) 堀江工業(株) (株)松崎 (株)ダイユーエイト (有)エンドースクリーン スポーツニッポン新聞社福島支局 (株)テレビユー福島 トーアエイヨー(株) 福島トヨペット(株) (株)サンベンディング福島 医療法人待井循環器科内科クリニック (株)佐藤信博建築設計事務所 セントラルウェルネスクラブ福島	福島県商工信用組合 キング印刷(株) (株)東館 (株)東北装美 福島県ゴルフ連盟 (株)ひらい 原町港湾運送(株) (株)福島中央テレビ (株)山川印刷所 (株)加地和組 トップツアー(株)福島支店 (株)海老名建設 (株)ヤクルト本社福島工場 (株)NIPPOコーポレーション福島支店 (株)レオコア東北 (株)福島放送 アルパイン(株) (有)和田印刷 (株)サンセス印刷 齋藤整形外科医院 大宝建設(株)	福島県信用金庫協会 (株)福島民報社 福島テレビ(株) ゼビオ(株) (株)ウエディングエルティ 東開クレテック(株) 福島日産自動車(株) 橋本町体育協会 (株)民報印刷 クレハ錦建設(株) 大塚製菓(株)郡山出張所 (株)高橋建設 寿建設(株) 北斗印刷(株) (学)新潟総合学院FSG専門学校グループ 県高等学校体育連盟 白河信用金庫 東北索道協会福島地区部会 川井魚店 有有限会社 むまん (株)ヤスタ創建	福島県信用保証協会 福島民友新聞(株) 東信建設(株) (株)環境分析研究所 (株)クレハ環境 庄司建設工業(株) 福島県建設業協会双葉支部 クリナップ(株)いわき事業所 小名浜製錬(株)小名浜製錬所 福島運送(株) 陽光社印刷(株) 江花建設(株) 福島ヤクルト販売(株) オノヤスポーツ(株) (株)日産サティオ福島 ヤマハ発動機(株)東京営業所 福島信用金庫 竹屋旅館 喜多方観光バス(株) ワタナベカーペット(株) 東栄物産(株)
---	--	--	---	---

個人の部(加入順)

片吉本服荒柴渡平菅松渡櫻山米	平田田部川山辺石野村部井田沢	俊政俊啓信 洋家泰正孝和常修	夫勝教吉郎進司治典勝美朋雄志	下山田 井戸辺藤田田辺山根井藤	林花六渡須藤山渡平関永佐	好幸宣正 五兵衛 康智洋正	宏夫明幸仁博衛知勝夫美一史	北朽星鈴伊関酒渡高古御白野	村木 木藤 井邊橋川田石崎	孝耕光義隆降卓 雅公 洋	男作一祐司之夫彌滿秀男豊一	宿本井藤田藤藤根野藤本崎木	本岩国佐滝佐佐白高佐坂森八	尚夫一敬彦彦樹英典治恵結造	忠裕謙勝武弘一康新満俊卓	結佐長橋福佐東齋齋安砂高	城藤岐 士藤城森須藤田橋野	勝昌 和寛信正 秀喜敦光浩	夫志博彦樹行幸淳行勝博子二	佐前岩遠宗長矢佐野太山橋森	藤田田藤形川澤藤地田本 合	十 俊清長祀陽豊和政正	次長徹均二治伸男一秋子弘典	斎五十鈴福神柳富高福深武掘小	藤嵐木本野沼田橋本谷藤田松	久源浩 美智 孝千政秀敏 一	男一郎一隆男徹志昭之三治満彦
----------------	----------------	----------------	----------------	-----------------	--------------	---------------	---------------	---------------	---------------	--------------	---------------	---------------	---------------	---------------	--------------	--------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	-------------	---------------	----------------	---------------	----------------	----------------

加入のお願い

「福島県県民スポーツ振興協会」は、「ふくしま国体」の成功を契機に設立され、15年目を迎えました。この協力は、生涯スポーツを推進し、県民の「たれもが、いつでも、どこでも」気軽にスポーツに親しむことができるようにするために、また、県の競技力の維持・向上を支援するために活用されています。本協会の趣旨を御理解いただき、会員は年々増加しておりますが、より多くの方にご加入いただき本県のスポーツ振興を支えていただきますようお願いいたします。

- 加入期間……入会后5年間 ●協力金額……毎年度あたり1口1万円。1口以上何口でも可。
- 加入窓口……財団法人福島県体育協会事務局 総務係TEL024-521-1291

(財)日体協公認スポーツ指導者研修会のお知らせ

(財)日体協では、「公認スポーツ指導者制度」を定め、地域スポーツにおいて、各年代に応じた指導ができ、さらに競技力向上においてもその知識や技能を發揮できる指導者の育成に力を入れています。平成23年度に本県で開催する予定の指導者養成講習会は以下の通りです。

指導員 陸上競技・水泳・ソフトテニス・ボウリング

上級指導員 卓球・水泳

詳細はHPをご覧ください。お問い合わせください。

(財)日体協公認スポーツ指導者研修会のお知らせ

(財)日体協公認スポーツ指導者は、その資格更新のために最低4年に1度、義務研修会を受講する必要があります。(更新予定日の半年前までの受講)

※ただし、水泳、サッカー、スキー、テニス、バドミントン、剣道、山岳、空手道、アイスホッケー、パウンドテニス、エアロビク(コアのみ)、プロゴルフ、プロテニス、職業スキー、スクーパ・ダイビング、スポーツドクター、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士、クラブマネージャーの資格者については、別に定められた研修を受けなければ資格を更新できません。

平成23年度は、相双ブロック・全県ブロック・県北ブロックの3回を予定しています。

詳細はHPをご覧ください。お問い合わせください。

HOTNET

「HOTNET」は
福島県のスポーツを応援するホームページです!

<http://www.sports-fukushima.or.jp>

E-mail: info@sports-fukushima.or.jp

(財)福島県体育協会

福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館

スポーツなんでも相談

本協会では、スポーツ医事・トレーニング相談事業の一つとして、スポーツ愛好家や選手のけが、病気、栄養について、また体力や種目の特性に応じたトレーニング方法についてなど、スポーツに関することの無料相談を受け付けています。下記の方法でお問い合わせください。

- ① 電話によるご相談 TEL 024-521-7896
- ② FAXによるご相談 FAX 024-521-7971
- ③ メールによるご相談 info@sports-fukushima.or.jp

編集後記

この度の震災で多くの県民の皆様が被災されました。心よりお見舞い申し上げます。

復興への道のりは険しいですが、県民の皆様を勇気づけ、また元気をふくしまを取り戻すため、できることは少ないかもしれませんが、精一杯活動をしていきたいと思っております。

がんばろうふくしま!

広域スポーツセンター

うつくしま広域スポーツセンター
(県体育協会事務局内)

福島市杉妻町5番75号福島県庁東分庁舎3号館
<http://www.u-kouiki.jp/USC.html>
E-mail: utsukushima@u-kouiki.jp

TEL 024-526-4680
FAX 024-526-4681

浜通り広域スポーツセンター
(富岡町教育支援センター内)

双葉郡富岡町大字小浜字中央464-4
<http://www.u-kouiki.jp/USC.html>

TEL 0240-21-1711
FAX 0240-21-1712

会津広域スポーツセンター
(会津若松市ふれあいスポーツ広場
ふれあい体育館内)

会津若松市一貫町大字八幡字八幡2の1
<http://www.u-kouiki.jp/USC.html>

TEL 0242-37-0588
FAX 0242-37-0933